



「わん」

モモモ

錬金術師

ああアンタね
いらっしや
りなさいよ

さくら
ほらさくら
これん。

R-18

For Adult only.

「私今 錬金術の真っ最中だから
ジヤマしないこと
もうすぐレント達が来るから
向こうで待ってなさいよ」

「ところでさ
ね、ね、
今何作ってると思っ？」



「正解はねー
感謝してよ？
アンタ用のアクセサリ…」

「さっきジャマしないでって
言ったでしょ！
お礼がしたいって…言ったって
急にされると驚くでしょーが！」





「……え？
合ってるけど
窯を混ぜてる間はすくと立ちっばなし
フトモモに疲れが溜まるし、
多少のストレスも溜まるし……」



「他にも溜まるん
じゃないかって？
他って何よ？」

もっ ちり♡

ちり♡ ちり♡



「アンタがフトモモの…」

う♡

こすりマッサージが上手なのは認めるし、

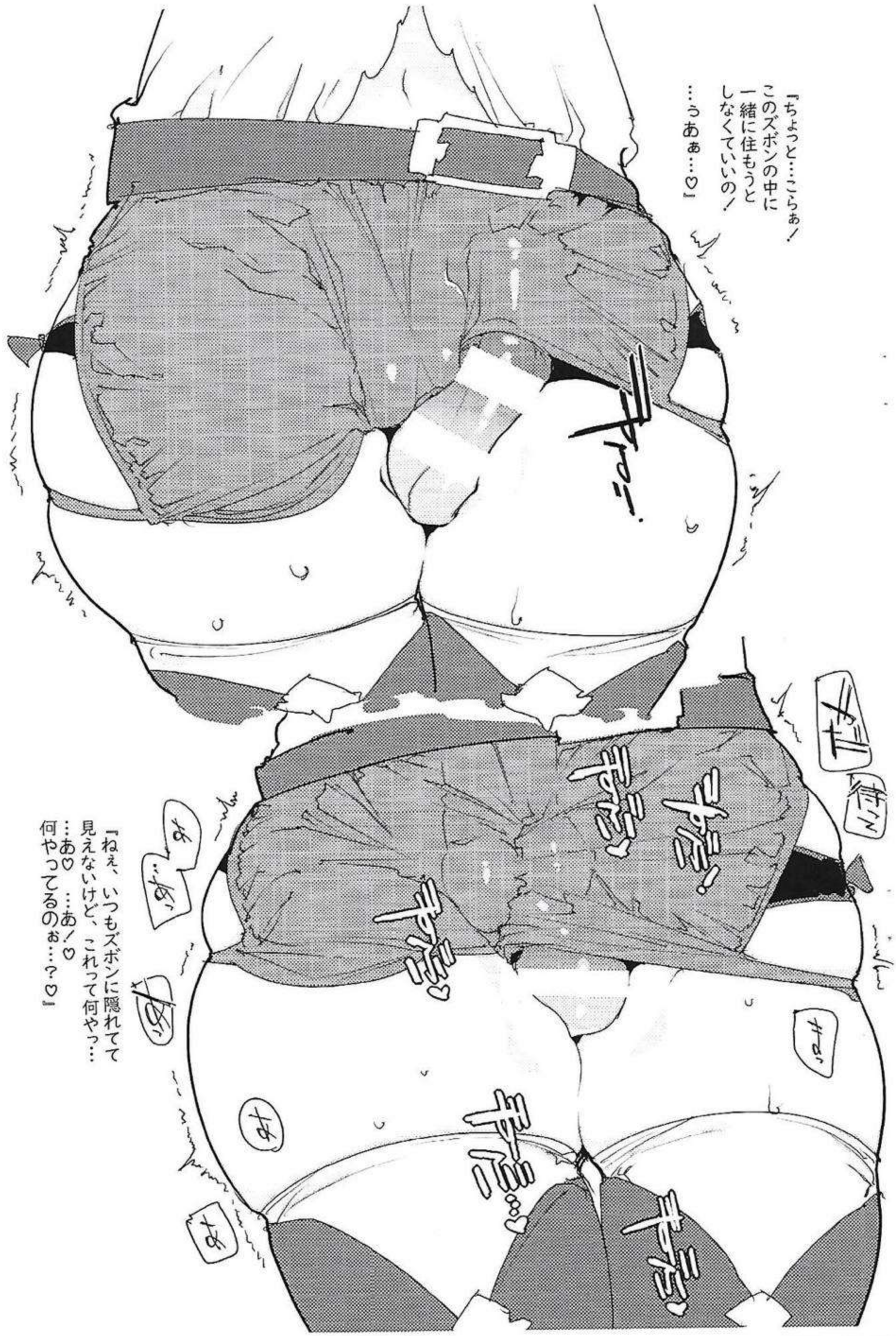
…や♡ あっあっ…♡

私も正直助かってるけど…」

「別なトコも擦れていつもイケナイ事してる気がしてくるんだけど？」

パッパッ
パッパッ
パッパッ

「ちょっと……あらあ、
このズボンの中に
一緒に住もうと
しないでいいの、
……ああ……♡」



「ねえ、いつもズボンに隠れてて
見えないけど、これって何やっ…
…あ♡…あ♡
何やってるのあ……♡」

「オナカが…じゅわっ♡…って、
ボカボカしてきて
錬金術疲れの溜まったモノが
全部消えてくみたいで…♡♡」

「これでも私っ…♡
嬉しいもアツタに助けられて
思っている♡
だからっ…♡♡♡」



「ほんとうに…♡
きもちいいよ…♡
どおしよお…♡♡♡」

「…おくち…こーないねんえき♡で
私の体内も見てくれるのは
解ってるけど…♡
やっぱり慣れにゃいよあ…♡
だあって…キスだもんこれえ…♡♡♡」



「…ねえ…どお…?
私の身体のナカも看れた?
そう、よかつひゃあ…♡
アంతのキスが無駄に
なんなくって♡
…ん♡ ……♡♡♡♡♡」

「ねねっ！
今日の私どうだった？
良かったー！♡♡♡
健康体？
錬金術師も
身体が資本だもんね」

「アంతタがしてくれる
私の体調には感謝してるのよ？
だから私とお揃いの
アクセサリー作ってあげよう」

「…え？
元気を赤ちゃん産めようって？
何言ってるの？」

「私がアంతタとの赤ちゃん？
つくるわけないでしょー？♡
ちよーしに乗らないの♡♡♡」





あー！
やっ！と！
遅！来！た！ぞ！
遅！い！ぞ！？

揃！っ！た！し
ア！ト！リ！工！建！築！計！画！の
話！の！続！き！し！よ！？

おかげ。

■発行日.....
2019/12/30
■発行.....
サークル・ぼてとさらふだ
hi_mekuri@hotmail.co.jp
[http://twitter.com/
hi_mekuriguri](http://twitter.com/hi_mekuriguri)

※本誌の18才未満者の
購読の禁止
WEB上へのアップロード・
複写等の禁止